

## 平成 20 年度の主なソフト事業

### ①次世代向け施策の充実と子育て支援の推進

#### ●ファミリーサポートクラブの充実

子育て世代を地域で支えるシステムを充実させます。また市民団体等との交流を積極的に図り、地域の子育て力向上を目指します。

#### ●新婚世帯向け家賃補助事業

市内の民間賃貸住宅に入居する新婚世帯に対して家賃補助を実施することにより、若年層の市内定住促進と市の活性化を図ります。

### ②特色ある学校教育と青少年の健全育成

#### ●特別支援教育の充実

スクールアシスタントを全小中学校に配置し、学びのサポーターとの連携を図りながら、各校における特別支援教育を充実させます。

#### ●加西そば大学の開設

観光、産業、教育等の分野に「そば」を位置づけ、「そば」を中核にしたまちおこしを行い、コミュニティの輪を広げます。

### ③市民が健康で長生きできる生涯現役都市

#### ●病院改革プランの策定・検証

総務省の公立病院改革ガイドラインに基づき、役割、数値目標等を明記した病院改革プランを策定し、その実施状況の点検・評価・公表を行います。

#### ●高齢者健康教室“生き生き元気塾”

75歳以上を対象に健康体操等を主体とした教室を開催し、高齢者自身が生き生きと主体的に介護予防に取り組めるよう支援します。

#### ●高齢者ふれあい交流・生きがいづくり講座の開設

高齢者学級「かしの木学園」の学級生同士の交流を図るとともに、一人暮らし高齢者の生きがいづくりを支援するため、野菜づくりの出前講座を実施します。

### ④新しい文化の創造とふるさと情報の発信

#### ●鶴野飛行場関係歴史文化遺産基礎調査

「鶴野飛行場跡地の有効利用」を考えるにあたって、歴史文化遺産の活用の側面から基礎調査を行います。

#### ●地域づくりスタッフ育成講座・人権セミナーの開催

参加体験型の学びスタイルにより地域スタッフを育成します。また人権セミナーでは共に生きる社会の実現を目指し、人権文化の向上に努めます。

### ⑤活力ある地域経済と定住の促進

#### ●空き家を生かした田舎ぐらし応援事業

地方で生活することを希望する都市生活者や定年退職者の基盤を整備し、地域活性化と新たな価値観を創造する取組を行います。

#### ●まちなか商業再活性化事業

大型店の進出を予定する中、まちなかの既存商店街のにぎわいが低下してきているため、商業施策などを展開し、まちなか商業の再活性化を図ります。

#### ●地域交流センター月曜オープン

アステアかさいと中心市街地の活性化、市民活動団体の支援と市民サービスの向上を図るため、月曜日も開館します。

#### ●特産品の開発

商工会議所、JA兵庫みらいとの加西ブランド協議会などを通して、加西ブランドの開発に努めます。

### ⑥環境と景観のまちづくり

#### ●市民環境大学の開催

大切な環境を守っていくためには、生活のあらゆる場面で環境への配慮を忘れないことが大切です。そのきっかけづくりとして、市民環境大学を開催します。

#### ●新エネルギービジョン策定事業

地球環境問題に対処するため、加西における新エネルギーの活用プログラムを作成します。

#### ●ゼロエミッション大会開催

ごみ減量を目的に、市民意識の高揚を図るため、環境省など最新の国の施策について学習します。

#### ●炭化事業

竹林を管理し里山を保全するため、炭化装置を導入し、竹炭や木酢液の有効利用を図ります。

### ⑦安全・快適な市民生活のための都市基盤整備

#### ●加西市公共交通活性化協議会

高齢者などの交通弱者が、車がなくても日常生活を送ることのできる公共交通網の整備に向けて「加西市公共交通総合連携計画」を策定します。

#### ●教育施設の耐震補強事業

加西中学校校舎の耐震補強設計等を行います。

#### ●緊急消防援助隊設備整備事業

救急車の更新整備を行います。

## 平成 20 年度予算の概要

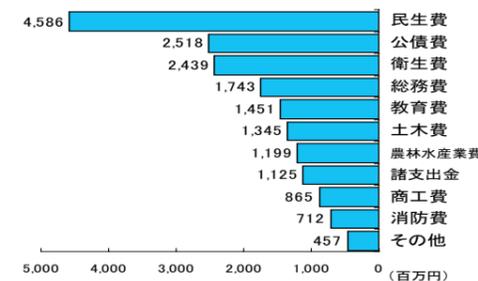
今年度の予算は、原油高等により企業収益の先行きに不透明感が広がる中、市税収入の伸びを期待できない状況であり、引き続き緊縮型の予算となっています。

また、平成20年度は財政再建推進計画の後期5カ年計画のスタートの年であり、限られた財源を効率的に効果的に活用するために事業の選択と集中を図り、教育・子育てと環境に重点を置いた施策を盛り込むとともに、ソフト事業を充実させ市民満足度の向上を目指しています。

一般会計 184 億 4,000 万円  
(前年度比 0.9%減)

## 歳出

### 歳出内訳グラフ



## 歳入

#### ●自主財源：市税・使用料及び手数料・繰入金等

市独自の財源をいい、歳入に占める割合が高いほど財政が豊かといえます。平成20年度は106億8,658万8千円であり、前年度比3.2%の増となっています。

## ふるさと納税の準備状況

「ふるさと納税」は、自治体への寄付相当額を、住民税などから税額控除できる制度です。

平成21年度分の住民税(平成20年分所得)からの適用を目指して、審議されていますので、詳細が決まり次第、広報かさい・市役所ホームページなどでお知らせします。

加西市では一定額以上をご寄付いただいた方には加西の特産品をお送りすることなどを検討しており、ふるさと納税を通して、加西のサポーターを増やしていきたい、と考えています。

平成 20 年度予算総額：412 億 5,686 万円  
(前年度比 6.3%減)

(単位：千円)

区分	予算額	対前年度比
一般会計	18,440,000	△ 0.9
特別会計		
有線放送電話	41,882	△ 1.4
国民健康保険	4,526,791	△ 4.2
介護保険	3,397,764	8.7
後期高齢者医療	439,881	皆増
老人保健医療	455,596	△ 90.5
公園墓地整備事業	17,000	13.3
小計	8,878,914	△ 30.2
企業会計		
農業共済事業	138,312	△ 10.7
水道事業	1,580,216	△ 7.8
下水道事業	5,350,575	23.9
病院事業	6,868,841	5.3
小計	13,937,944	9.7
合計	41,256,858	△ 6.3

目的別(主なもの)

- 民生費：高齢者・障害者・児童の福祉に使われる経費。
- 公債費：借金の返済や利子の支払いにあてる経費。
- 衛生費：健康増進のための保健衛生事業、ごみ処理などの環境衛生事業の経費。
- 総務費：戸籍、徴税、選挙、広報、防犯などの経費。
- 教育費：学校教育、公民館、図書館などの経費。
- 土木費：道路や市営住宅の維持管理などの経費。
- 農林水産業費：農業振興及び山林の管理などの経費。
- 諸支出金：公社貸付金や基金への積立にあてる経費。
- 商工費：商工業の振興などの経費。
- 消防費：消防にかかる経費。
- その他(予備費含む)：議会、労働にかかる経費。

#### ●依存財源：地方交付税・地方譲与税・国庫支出金・県支出金・市債等

国や県から交付を受けたり、市債として市が借入れるお金です。平成20年度は77億5,341万2千円であり、前年度比6.1%の減となっています。

「ふるさと加西応援WEBサイト」  
詳しくは、<http://city.kasai.hyogo.jp/furu> をご覧ください。

ぜひ、ふるさと納税(加西市への寄付)によって加西市が独自財源を増やせるよう寄付をお願いします。

加西市の「ふるさと納税」では、CO2の削減、新時代の公教育、食と農の再生、里山再生と田舎暮らし、水辺再生、近代交通遺産「北条鉄道」、景観のまちづくりなどの各種寄付メニューの中からお選びいただけます。

平成20年度に寄付していただくと、平成21年度分の住民税から税額控除できる見込みです。